

〔第172回明専塾（日鉄ケミカル&マテリアル株）〕 社会人4年生の明専塾

機知制H26 宮本 和輝



インド工場の愉快的仲間たち
(中央が筆者)

執筆されていますので、私は社会人4年生という立場から「学生の頃と現在」を比較し、明専塾に対する見方がどう変化したのか、また学生の皆様へ伝えたいことを中心に述べたいと思います。

明専塾に対する見方

私が学生だった頃、明専塾は「OBとの交流を通じて会社や社会のことがわかる場であり、希望の会社であれば自分を売り込む場」と認識しておりました。この点は今の学生の皆様にとっても変わっていないことかと思えます。会社に入り、OBとして初めて明専塾に参加して感じたのは、企業側、特にOBの皆様が、想像を遥かに超えるほど明専塾に対して時間と労力を費やしているということです。構想を練り、資料を準備し、質問を想定して回答をあらかじめ準備する。これらがいかに大変であるか、過去2年間の採用活動でも経験し、改めてOBの皆様の熱意と

偉大さを認識することとなりました。少し考えればわかることなのかもしれませんが、私が学生の時分には「社会人がお金と時間をかけて明専塾に参加していること」の重みについて、全く想像ができなかったなど恥じるばかりです。今回の明専塾では諸事情により講演することは叶いませんでしたが、同じ会社の先輩や後輩が立派な講演をしているのを見て、同じOBとして負けていけないなど強く思いました。

学生の皆様に伝えたいこと

直近、2年間の採用活動の中で、「志望がない」または「自分が何をしたいのか分からない」という学生を幾度かお見かけしました。月並みな意見で申し訳ありませんが、就職活動は自分を見つめ直す良い機会だと思えます。自分は何が好きなのか。人生という長い時間を使って何をしたいのか。将来どういう人物になりたいのか。考えることはたくさんあると思えます。是非、悩んで、悩んで、悩み抜いて欲しい。会社に入ってから進む道を変えらるとなると、多大なエネルギーと運が必要になるかと思えます。学生の内に自分の人生

始めに

OB・学生の皆様、こんにちは。2016年3月に大学院を修了し、社会に出て4年目となりました。

まさかこんなにも早く明専会報の記事を書く機会を得られるとは想像もしておらず、誠に光栄に思います。拙い内容かもしれませんが、短い間お付き合いいただければと思います。

明専塾について

諸先輩方が過去に様々なご意見を

最後に

まだまだ若輩者ではありますが、私の精一杯の意見を記述しました。このような機会をいただきましたこと、また、明専塾開催へ多大なご尽力をいただきました明専会、九州工業大学関係者の皆様にご感謝を申し上げますとともに、皆様のご活躍を心より祈っております。

(日鉄ケミカル&マテリアル株)